

## 第 24 回 糸 賀 一 雄 記 念 賞 受 賞 者 ・ 団 体 紹 介

水流 源彦 氏(鹿児島県鹿児島市)



### ■経歴

- 1970 年 鹿児島県鹿児島市に生まれる。祖父の代から社会福祉法人を運営し、入所施設敷地内に自宅があったため、知的障害のある人々に囲まれて育つ。
- 1993 年 社会福祉法人しがらき会 信楽青年寮に就職
- 1997 年 父の経営する社会福祉法人に転職
- 2015 年 社会福祉法人ゆうかり理事長に就任

### ■活動内容

- ・施設から地域への移行という機運がまだまだ起きていなかった鹿児島市で在宅支援サービス事業を立ち上げるため、旧来の入所施設での保護を中心とした支援から、住み慣れた地域で暮らし続ける支援へと転換させようと、不安を抱く職員に丁寧に語りかけ、励ましながら在宅支援サービスやグループホームの整備など、実践活動を確実に積み重ねてきた。
- ・グループホームの整備を地域住民から反対された際、障害に対する社会的バリアを実感し、「障害」という言葉を知る前に子ども同士が交流する環境を作ることの大切さを、自身の子ども時代の原風景と重ね合わせ、ゆうかり保育園を開設した。障害のある子どもを募集しているわけではないが、発達障害や知的障害、医療的ケアの必要な子どもが一定程度在籍している。
- ・障害者が地域で安心して暮らし続けるための地域生活支援拠点について、鹿児島市では(社福)ゆうかりが中心的に実施しているが、市内 17 法人(社会福祉法人、NPO 法人等)との連携協定締結による事業実施のための受け入れ体制を構築しており、拠点の機能強化への先駆的・モデル的な取り組みとなっている。

入所施設の機能やマンパワーを活かした地域福祉への展開に取り組みられ、とりわけ、地域生活支援拠点事業について、行政や他団体との良好な連携関係を構築され、他法人と連携した面的実施は、独創的、画期的なものであると高く評価され、その先進的な活動の全国への広がり在今后一層の活躍が期待されるとして、糸賀一雄記念賞の受賞となりました。